

ランプを交換する

- ランプが1本でも寿命になると、すべてのランプは正常点灯しません。
- ランプはすべて同時に交換することをおすすめします。
- ナショナル製ランプをお求めください。

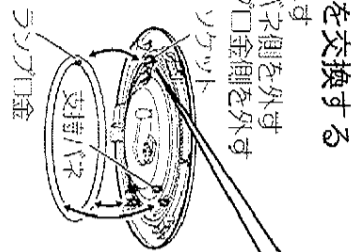
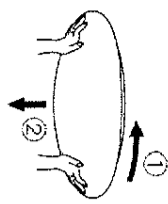


1 カバーを外す

- ①止まるまで左に回す
- ②外す

2 ランプを交換する

- 取り外す
 - ①支持/バネ側を外す
 - ②ランプ口金側を外す



- カバーを取り付ける
 - ③ 2ペーシング
- 「各部のなまえと取り付けかた」
手順 ④ 参照

使用上のご注意

- 点灯中や消灯直後、ランプソケットの周囲により若干の蒸気が発生することがありますが、異常ではありません。
- 電燈の弱い場所（山間部、鉄筋建物など）では、室内アンテナ使用の手シビやラジオに影響することがあります。
- 照明器具のさわめ近くでは、他の機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。
- 冬場など周囲の温度が低い場合、明るくなるまで時間がながかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 非常に短い寿命が起ると点灯状態が不安定になる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。
- 天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなる場合があります。
- 周囲温度が低く、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。
- 市販のLED豆球を使用すると、リモコンで「切」にしても完全に消灯しないことがあります。ご使用はお避けください。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用したいため、定期的（6か月1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、おけん水にひたした布をよこぎって拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- カバーはおけん水にひたし洗わずに洗剤をふきとり、水で洗った後乾かしてください。
- ソナー、ハンコなどの摩擦性のものをこすり、線状割れがけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

故障かな？と思ったら

下表に準って点検してください

現象	考えられる原因	処置
点灯しない	ランプ口金がソケットから外れている ランプが切れている 壁スイッチがOFFになっている	ランプ口金をソケットにはめる ランプを交換する 壁スイッチをONにする
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している リモコンの電池が正しく入っていない リモコンと照明器具のチャッネルが合っていない	リモコンの電池を交換する リモコンの電池を正しく入れる リモコンのチャッネルを照明器具と合わせて操作する

左記の処理を行っても現象が続く場合

- 電源をいったん切り、再度入れる（20秒以上切ってください）
- 電源をいったん切るとチャッネル設定が変わる可能性があります。その際は設定し直してください。
- ③ 3ペーシング
「器具のチャッネルを設定する」参照。

- 上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、工事店、電器店、別紙ご相談窓口にご相談ください。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	78W (リモコン付時、15W以下)	(34形+27形)丸形フリム蛍光灯 FHC34+FH27

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書について

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げの日より1年間です。但し安定器については3年間です。（ランプ等の消耗品は除きます。）

※床組の例外 2年間保証使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分のとなります。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低5年間保有しています。

補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

保証期間中は

お買い上げの販売店まで保証書をお持参していただき、保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてのご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工修理ご相談窓口（別紙一覽表ご参照）にお問い合わせください。

修理を依頼される時

修理に際するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工修理ご相談窓口（別紙一覽表ご参照）にお問い合わせください。

National

住宅用照明器具（シーリングライト）

取扱・施工説明書

品番 HSA A6001

取説No: HSA A6000-13A1

保管用

保証書別添

ご購入ありがとうございます。正しくお使いください。そのあと必ず保管し、必要なときにお読みください。

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

<p>禁止</p> <p>■ 次のような場所には取り付けない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面部が直径780mm未満の場所（例：下図） 直径780mm未満 凹みのある場所（例：下図） 階段天井 格子天井 半露天井 補修の古い薄い場所 55度を超える傾斜 パイプ板、石こうボードなど <p>● この器具は天井面取り付け専用です。</p>	<p>禁止</p> <p>■ 次のような配線器具には取り付けない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出しろの少ないもの 7mm未満 丸引掛コンセント WG6005 シーリングカバーが取り付けられたもの 破損しているもの がたつき がたつき 錆びに受け付けられたもの テープなどで取り付けられたもの テープなどで取り付けられたもの テープなどで取り付けられたもの <p>● 器具を改造したり、部品交換をしない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。</p> <p>● 工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。（交換には資格が必要です）</p>
---	---

注意

<p>必ず守る</p> <p>■ 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 点検せずに長期間使用し続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。 ● 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。 	<p>禁止</p> <p>■ 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない やけどの原因となる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。
<p>必ず守る</p> <p>■ 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない 火災、感電の原因となる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この器具は防湿、防雨型ではありません。 	<p>禁止</p> <p>■ 温度の高くなるものを器具の真下に置かない 火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 器具の真下にストローなどを置かないでください。 <p>■ 他の調光器と組み合わせ使用しない 調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせ使用すると、火災の原因となる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工事店、電器店に調光器の取り外しを依頼してください。（取り外しには資格が必要です）

取り付けの前に

器具の取り付けは説明書に従い、確実に行う
 ずらぬこと、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります

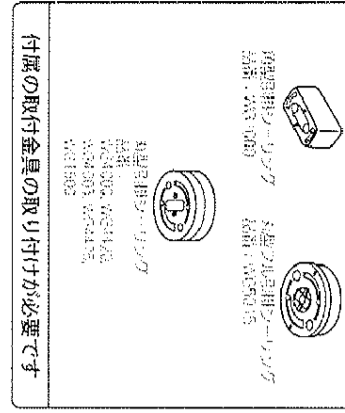
1 付属部品を確認する

●使用しない部品は付属品として含まれない
 ●付属品は必ず付属品リストを確認してください

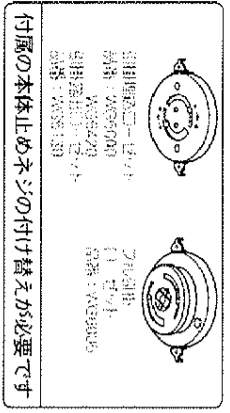


2 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

●安全のため、電源を切ってから行ってください
 ●取り付けできる配線器具 下記の場合のみ、配線器具の交換が必要です



- 1 取付金具の中央の金具を外す
- 2 補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で、取付金具を取り付ける



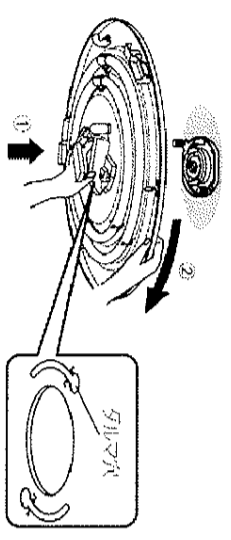
- 1 取付金具に付いている本体止めネジを外す
- 2 ローセットに本体止めネジを仮止めする

各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

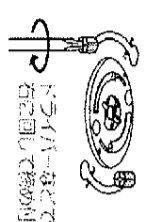
1 本体を取り付ける

- 1 本体止めネジをクルワックスを含めて、押し上げる
- 2 本体を右に回す



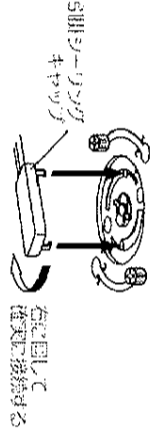
2 本体止めネジを締め付ける

- 1 ドライバーなどで、右に回して締め付ける



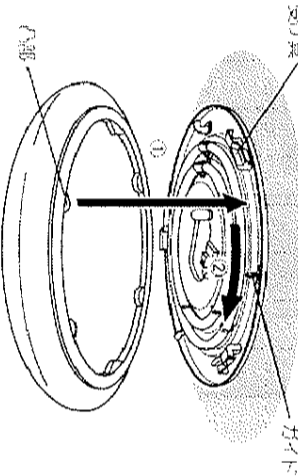
3 引掛シーリングキヤッツを接続する

- 1 カバーの裏面を本体の受け具とガイドの間に合わせ、持ち上げる
- 2 引掛シーリングキヤッツを、ガイドと合わせ、カバーを右に回す



4 カバーを取り付ける

- 1 カバーの裏面を本体の受け具とガイドの間に合わせ、持ち上げる
- 2 引掛シーリングキヤッツを、ガイドと合わせ、カバーを右に回す



警告

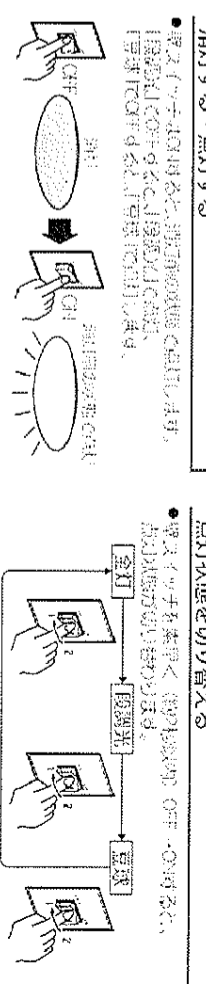
- 配線器具が十分な強度で取り付けられていることを確認する
 落下によるけがのおそれがあります。
- 配線器具が合った場合は、配線器具を交換してください。
- 配線器具の交換は、工事店、電気店に依頼してください。
- 交換には資格が必要です。

●ホルトによる取り付け、アウトレットボックスは取り付ける場合は、工事店、電気店に依頼してください。

壁スイッチで操作する

取器No.HSAA6000-T3B

通常の点灯、消灯だけでなく、点灯状態を切り替えることができます。



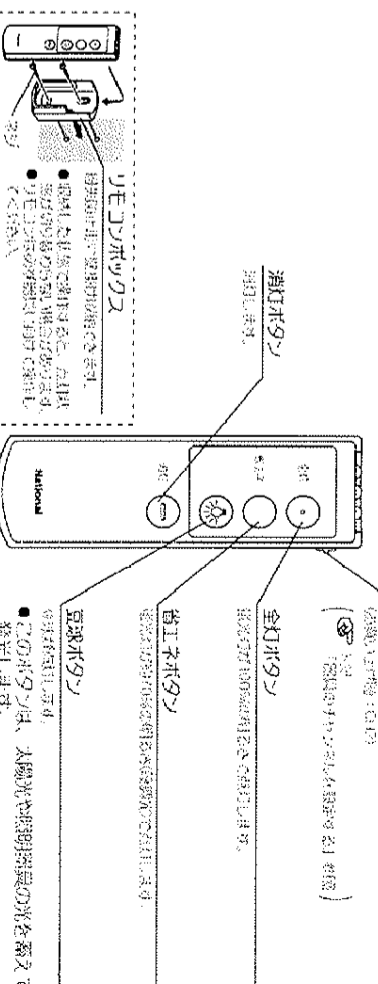
- 壁スイッチはON状態に設定し、点灯状態を切り替える
- 壁スイッチはOFF状態に設定し、消灯状態を切り替える
- 壁スイッチはON/OFF状態に設定し、点灯状態を切り替える
- 壁スイッチはON/OFF状態に設定し、消灯状態を切り替える

リモコンで操作する

リモコンは別売です。ニーズに合わせてお求めください。

HK93328	●点滅点、点滅をタイマーで切り替えることができます。
HK93330	●点滅点、点滅をタイマーで切り替えることができます。
HK93392	●タイマーの機能は切り替えることができます。
HK93323	●タイマー、タイマーの機能は切り替えることができます。
HK93332	●タイマー、タイマーの機能は切り替えることができます。
HK93320	●タイマー、タイマーの機能は切り替えることができます。

リモコンのはたらき (HK9328の使用例)



器具のチャネルを設定する

- 1 リモコン受信部のチャネル設定スイッチを押す
- 2 リモコンのチャネルスイッチを希望のチャネルに合わせる (例: CH1)
- 3 リモコンのいすれかのボタンを押す

リモコン受信部のはたらき

